

**高病原性鳥インフルエンザが続発しています。  
最大限の警戒をお願いします。**



JACCNET

新年あけましておめでとうございます。  
本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

年末年始にも新たに3件の高病原性鳥インフルエンザが発生しております。昨シーズンは1月単月で34件もの発生があり、本年も、最も注意すべき時期に突入しております。くれぐれもご注意ください。

先の飼養衛生管理基準の改正において鳥インフルエンザについて大臣指定地域が新たに設定されることが決定され、対象となる地域が告示されました。

大臣指定地域では以下の措置等が必要です。

- ・農場への野鳥の誘因防止策の実施
- ・地域での野鳥の誘因対策の検討（ため池等）
- ・発生時に向けた地域内での消毒薬の備蓄

[大臣指定地域の一覧](#)



※対象のエリアは右図のページをご覧ください。

**手指や靴底の消毒徹底、車両の洗車消毒など、畜産業界関わる人間全員で、防疫対策に取り組んでまいりましょう。**

## 農場、関連施設にウイルスを

**持ち込まない**

車両や手指の消毒実施

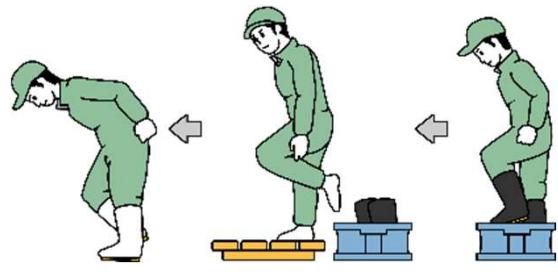


**広げない**

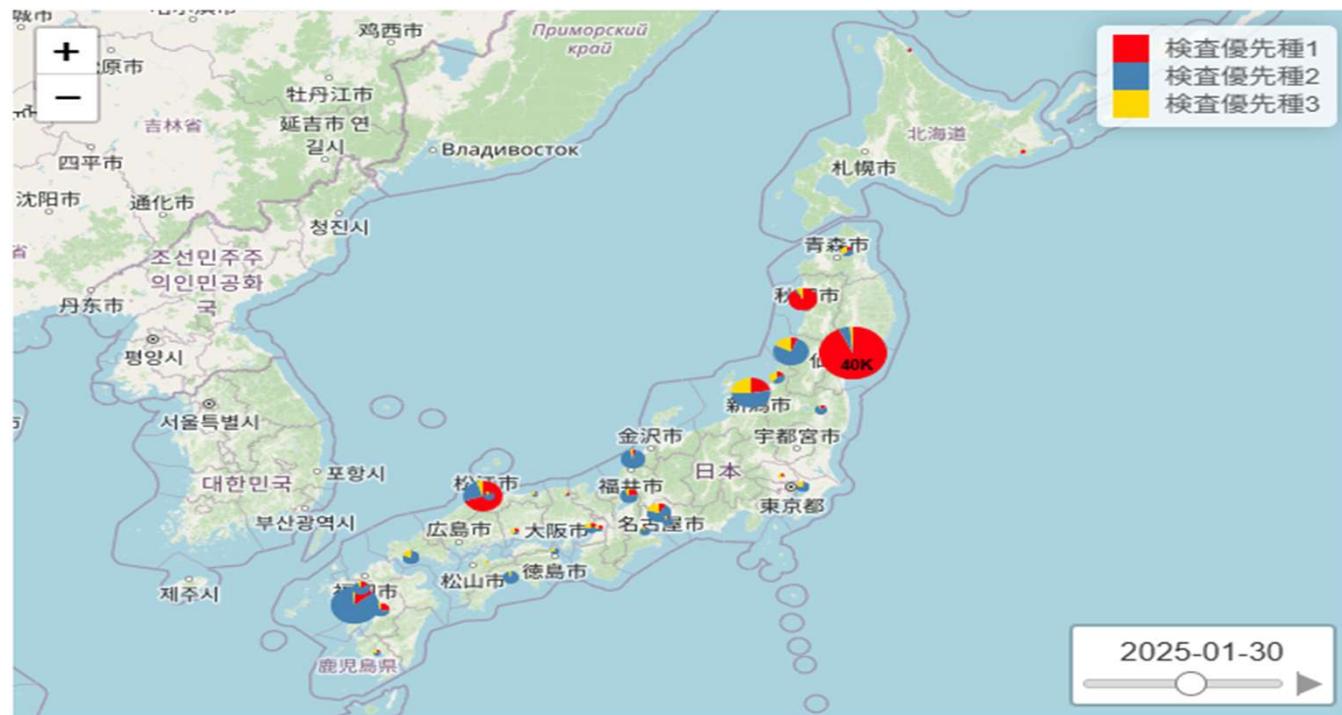
スノコを利用した長靴の履き替え実施



**持ち出さない**



## 野鳥の飛来状況をご確認ください



25-26  
渡り鳥  
飛来調査



24-25  
渡り鳥  
飛来調査

JACCネットでは渡り鳥の飛来情報を定期的に更新しています。

昨年の調査状況を確認すると地域にもよりますが1月から渡り鳥の移動が活発化する所もあります。現在は渡り鳥の動きが落ち着いておりネズミやカラスが主なキャリアと推測されますが今後、新たにウィルスの拡大の懸念があります。

消毒剤の散布に加えて「鶏舎の穴をふさぐ」、「カラスを近寄らせない」、「防鳥ネットを張る」、「雑草を刈り取る」など渡り鳥や野生動物が農場付近に寄り付かない対策が必要です。



### 「マイクロMix法の解説動画」



中央畜産会、農水省、JA全農等で作成

全農

JACCネット

JA全農が提供する畜産総合情報サイト

### 動画版「防疫管理の基礎知識」



全農

全農畜産生産部